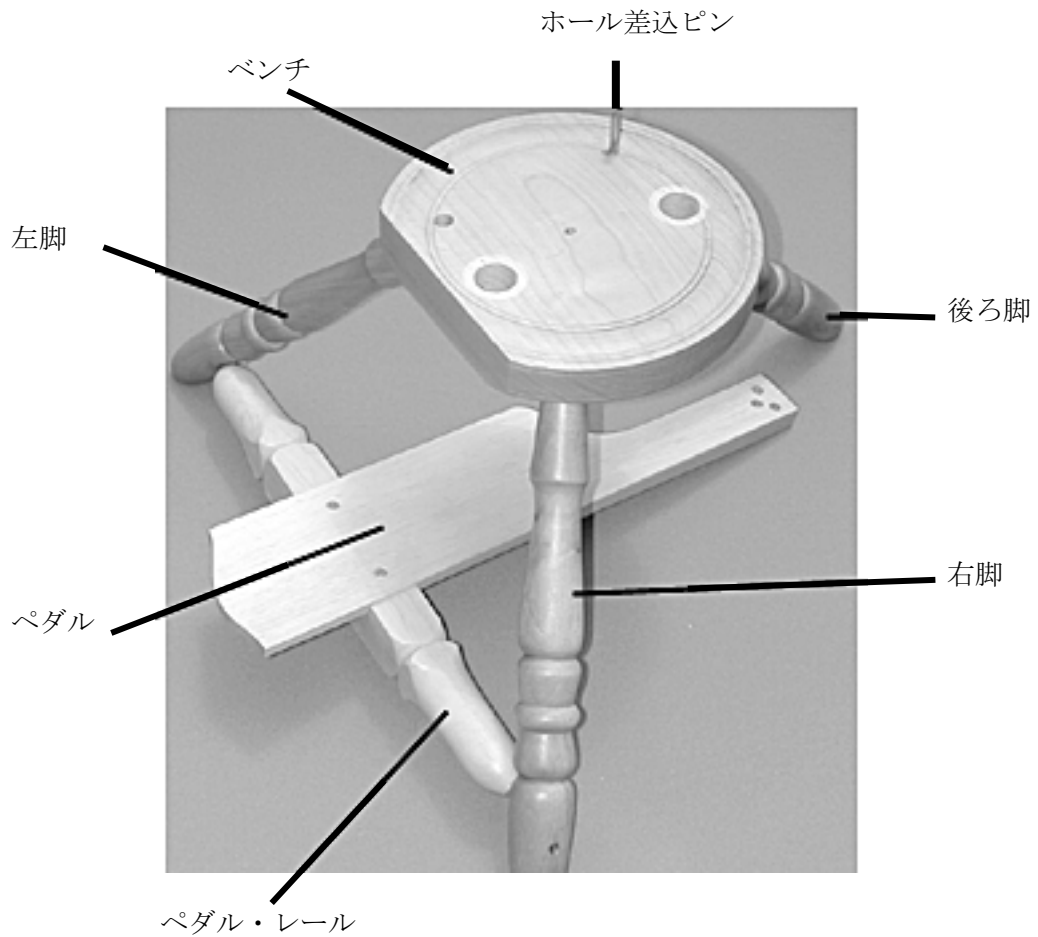
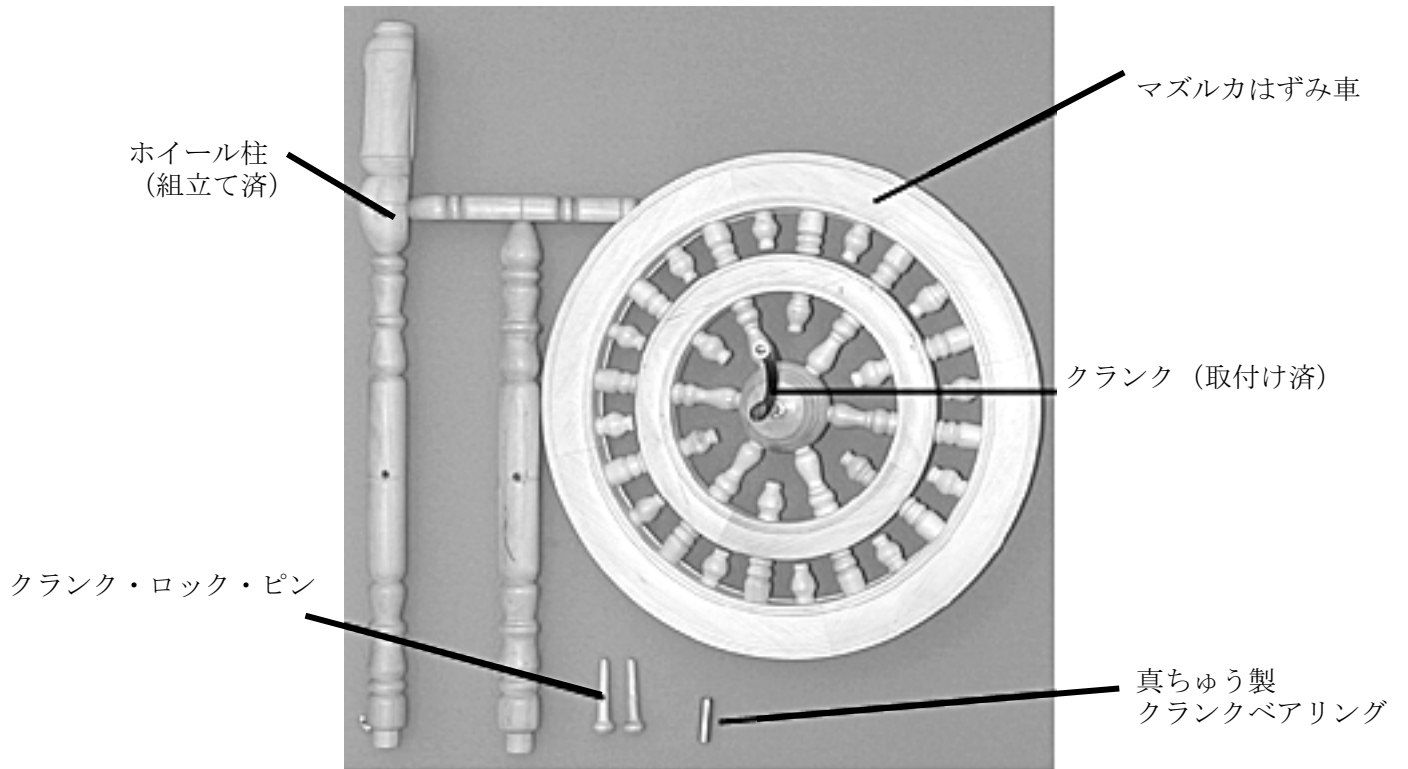
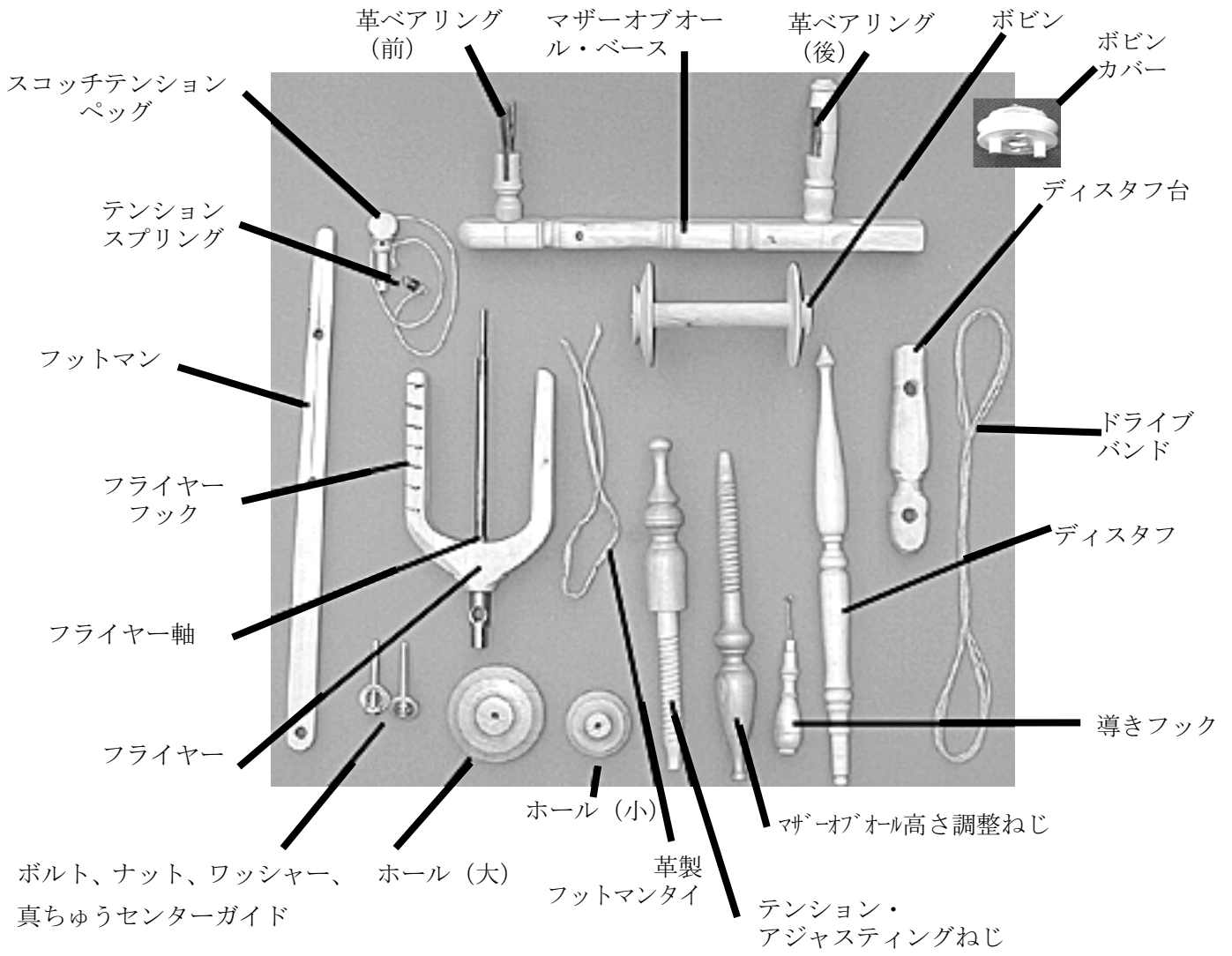


# クロムスキー マズルカ 部品リスト





クランク

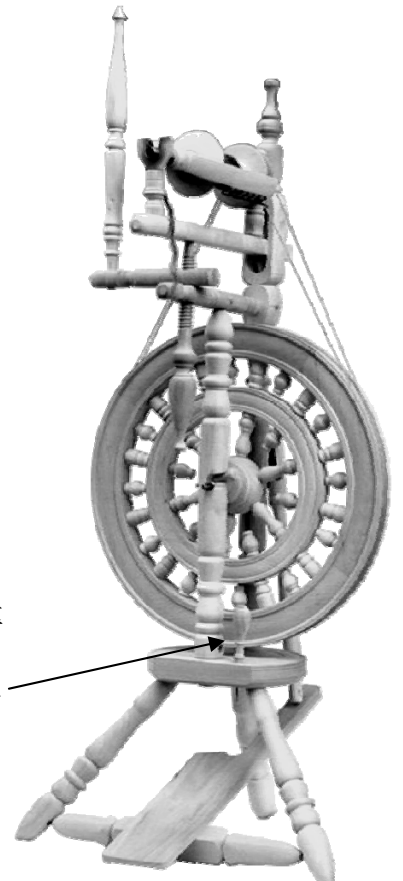


アイ・スクリュー  
テンションスプリング

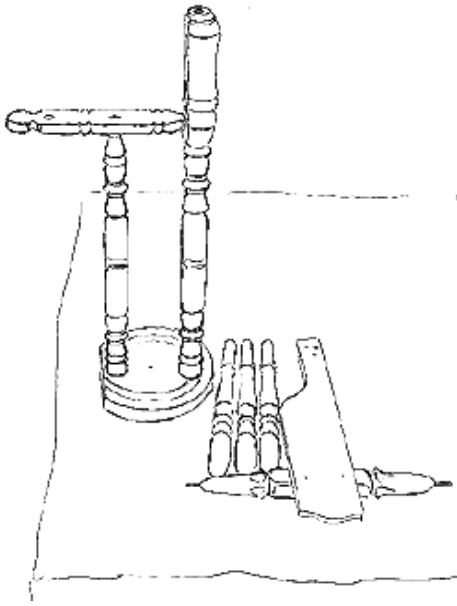
ブレーキバンド

調整ペグ

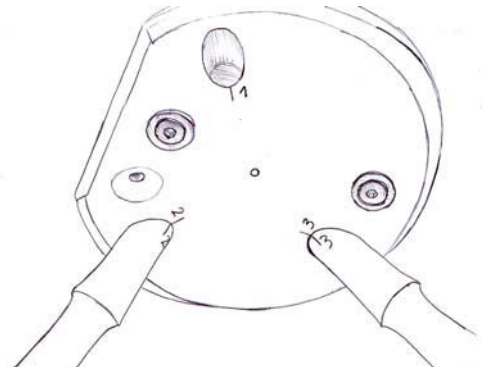
導きフック



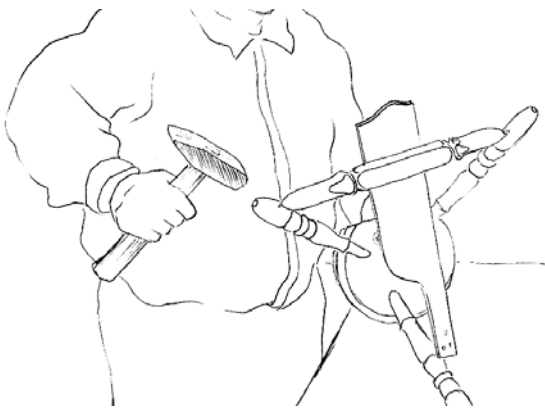
# マズルカ 組立図



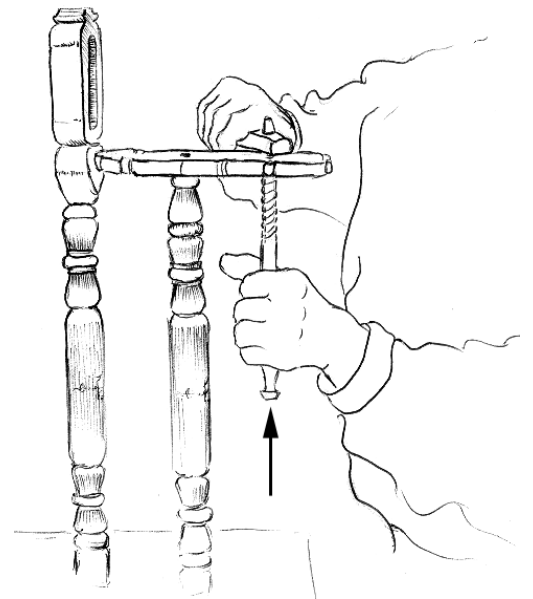
上の図の部品を取り出してください。



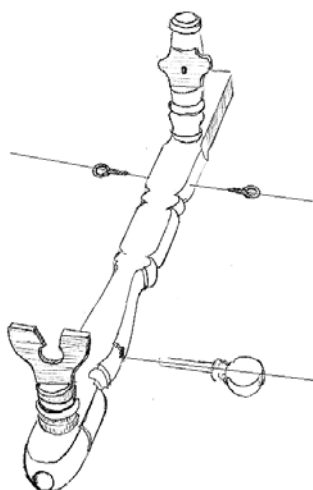
3本の脚にはナンバーがふってあります。また、ベンチに脚をはめ込む時の目印としてマークがつけられています。



ペダルをはめ込み、3本の脚を正しく取り付けます。ボンドで固定してもよいでしょう。



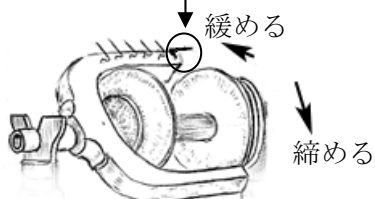
図のようにフライヤー台の手前の穴に、木のねじを下から回し入れ、台からねじが突き出てきたら、ディスタフ台をのせ、さらにねじ込んでいきます。ディスタフ台の穴にディスタフを差込みます。(ディスタフの位置は右でも左でもどちらでもかまいません)



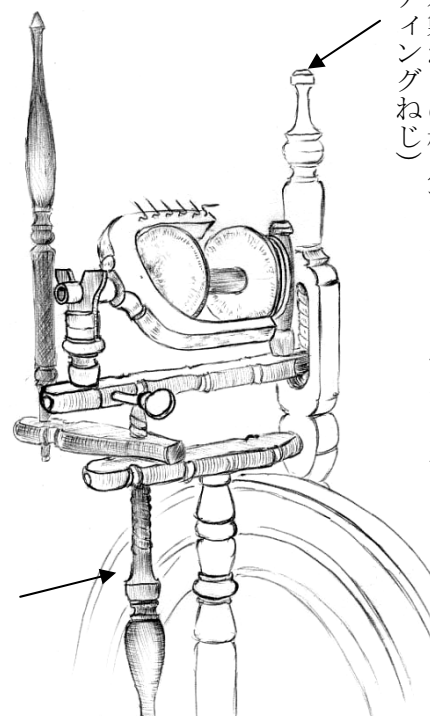
フライヤー台に、2 個のヒートンねじを取り付け、テンションペグを手前の穴に入れます。

左側のヒートンねじにスプリングの片側のリングを通し、スプリングのもう一方のリングにブレーキバンドを結びます。ブレーキバンドのもう一方の端を図の右側のヒートンねじに通し、テンションペグに結びます。

一番端のフックは 45 度  
右に回転させてください。

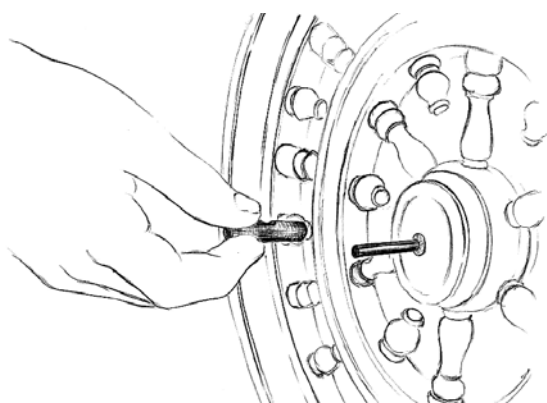


注意！  
フライヤー軸に  
フライヤーホールを取付ける時の  
ねじ回しの方向に気をつけて  
ください。

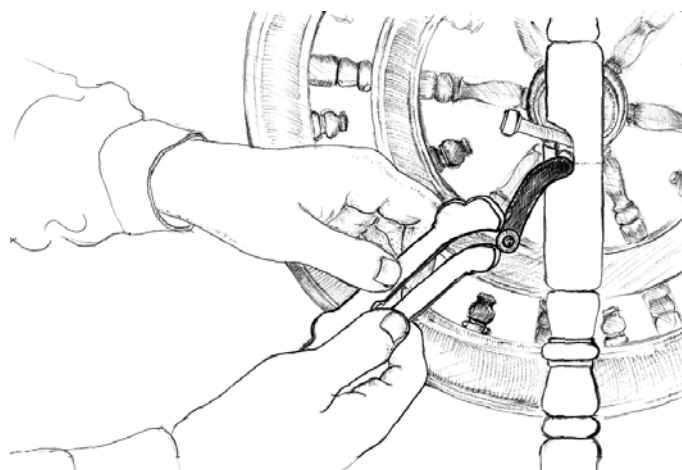


木製ねじの柱  
(テンション・アジャス  
ティングねじ)

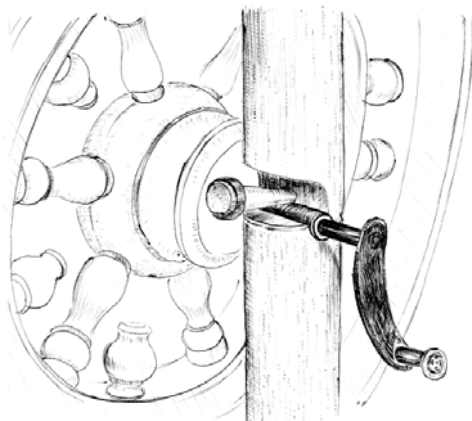
先が木製ねじになっている柱をフライヤー台の後ろに取り付けます。フライヤーとボビンを乗せ、ドライブバンドを 2 重の輪に結び、一本をフライヤー・ホールに、もう一本をボビンカバーにかけてください。(別紙のクイックチェンジフライヤーの使用法をお読みください。) 図中の矢印の柱をまわし、高さ調節をすることによってドライブバンドの張り具合を調整します。



部品袋の中から真ちゅうのベアリングを取り出し、クランクの棒にかぶせます。(もう片側のクランク(後ろ側)のベアリングは取り付け済。)  
このとき、ベアリング部分に油をさしておきます。

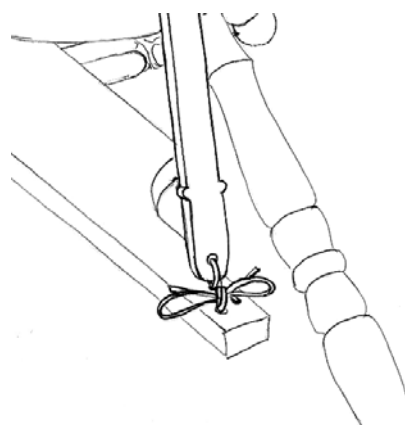
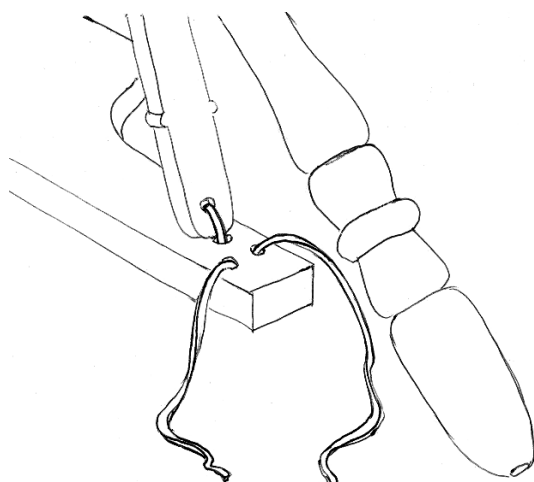
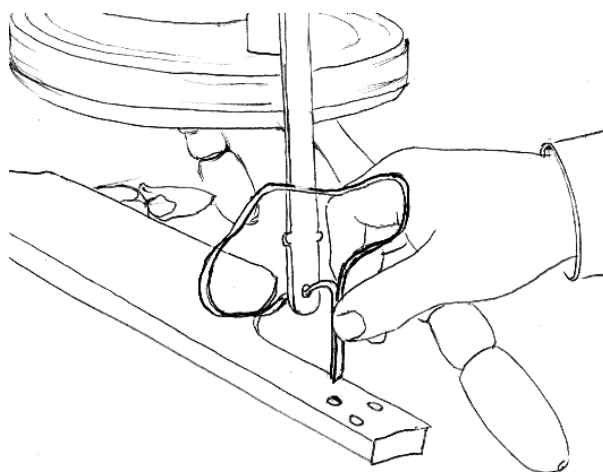
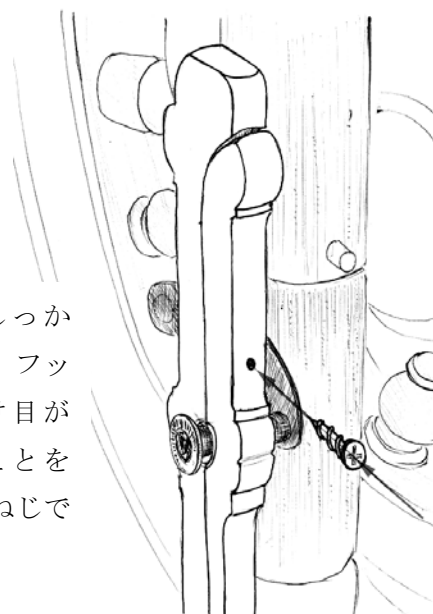


フットマンの裂け目をそっと広げ、クランクに取り付けます。クランクが穴に収まるまでスライドさせてください。



図のように柱にはずみ車を掛けてください。クランク・ロック・ピンで前側、後ろ側とも、ベアリングを固定します。(ベアリングの中央部分は固定ピンを通しやすいうくぼみが付けてある。)

クランクがしっかり穴に収まり、フットマンの裂け目が閉じていることを確認し、短いねじで固定します。



フットマンの下部の穴に革ひもを通し、ひもの両端をペダルの1つ穴に入れます。残り2つの穴に革ひもをペダルの裏側からそれぞれ通し、ペダル上でしっかりと結びます。

※スムーズに動作するよう、金属部分全てにオイルをさすことをお勧めします。特に、はずみ車の中心部の真ちゅうベアリング(ピン/ソケット)には度々オイルをさしてください。